

妙笑寺（千曲川洪水水位標）

FI/Tr



Ver.1(2020/2/1)

災害伝承 DATA

所在地：長野県長野市大字津野 850
緯度・経度：北緯 36 度 41 分 17.4 秒
東経 138 度 16 分 34.5 秒
伝承形式：社寺
種類 / 要因：洪水・湛水 / 集中豪雨
災害発生：1742 年（寛保 2 年）7 月末～8 月初め
建立時期：不明
指定等：なし
周辺地形：平野

言い伝え・伝説



観光情報はこちら

妙笑寺には、1742 年（寛保 2 年）の「戌の満水」以降に発生した千曲川の洪水水位が墨書きされた本堂の柱が残っています。また、妙笑寺境内には「千曲川大洪水水位標」が建てられ、同地区赤沼にも「善光寺平洪水水位標」が建てられました。

周辺案内

この地域は令和元年東日本災害で多くの被害に遭いました。古くは長沼城の城下町として栄えており「信濃なる ちくまの川のさざれ石 うずら鳴くなる 長沼の里」の歌が刻まれた長沼城址記念碑があります。また、神社仏閣が多く、小林一茶門弟の句碑も多く見られます。とりわけ、りんご栽培が盛んです。